

教材教員名	日課ピクトと 文字のマッチング	分類	認知 ★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピクトと文字のマッチングができる。</li> <li>・文字のかたまりを読むことができる。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・複数の選択肢の中から、ピクトに合う日課の文字を選ぶ。
- ・できるようになったら、一文字ずつ正しく並べる。

<材料>

- ・ファイル、ラミネートフィルム、マジックテープ

<工夫点>

- ・児童が好んで見ている日課を使用した。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・児童の興味のあるものを使っているため、集中して一人で取り組めた。
- ・一文字ずつ並べたあとに、かたまりの方を見返して正誤の確認ができた。

教材教具名	文字マッチング	分類	認知 ★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>電車や駅が好きな児童が楽しみながら文字のマッチングを行う。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- 見本を見ながら文字のマッチングを行う。

<材料>

- ラミネート、マジックテープ

<工夫点>

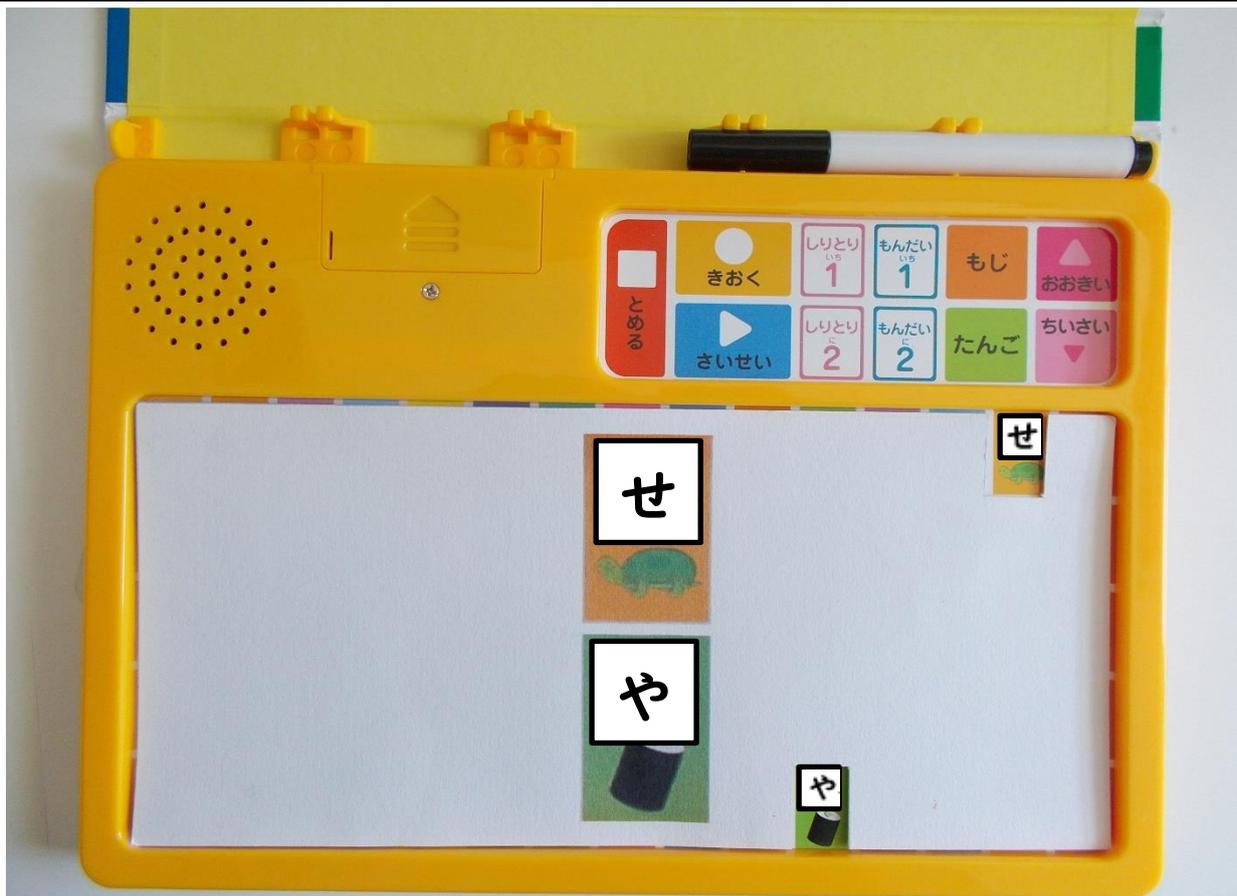
- 電車や駅が好きな児童が楽しめるように、本物の看板をなるべく忠実に再現した。
- 児童の身近な駅名を使用した。
- 情報量が多いため、見本に注目できるように赤い枠を使用した。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 楽しみながら取り組むことができた。
- 児童にとって興味のある文字であるため、すぐに「せ」と「や」を見つけることができたようになった。

教材教具名	キーを押して、自分の名前の音をしゃべらせてみよう	分類	認知 ★★★
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・教科書として、「こえでおぼえるあいうえおのほん（ポプラ社）」を持っている生徒が、自分の名前のキーを覚えて押せるようになる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・2文字から5文字程度に、限定したひらがな50音を、正しい順に押して、自分の名前の音を出す。

<材料>

- ・画用紙→「こえでおぼえるあいうえおのほん（ポプラ社）」のキーの上に載せる

<工夫点>

- ・切り抜き窓で限定したキー以外を押してしまう生徒には、厚紙を使用し、限定された音声しか鳴らないようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・練習を繰り返すうちに自分の名前のひらがなを、正しい順序で押せるようになった。

教材教員名	仲間分け	分類	認知 ★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・色や絵から仲間分けができるようになる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・はじめは少ない数で仲間分けをし、徐々に数を増やしていく。
- ・できるようになってきたら、ヒントとなるカードの縁の色枠を切り落とす。

<材料>

- ・ラミネート、画像、リング

<工夫点>

- ・どうぶつは二文字で構成される動物名を選ぶ、乗り物は種類を多くするなど、児童が覚えやすいものや親しみを持っているものを選んだ。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・はじめは色だけを見て分類していた児童も徐々に種類を意識する場面が増えてきた。

教材教具名	数量	分類	認知 ★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・数量に親しみを持つ。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・1ページ分ずつチップを渡したり、全ページ分のチップを渡したり、あえて余るように渡したり、児童に合わせて渡すチップの量を調整する。

<材料>

- ・ラミネート、リング、児童の好きなイラスト

<工夫点>

- ・最初のページはマッチングになるように、シートにも同じ絵を印刷して取り組めるようにした。
- ・最後のページに行くにつれてヒントが減るように工夫した。  
(カラー→白黒→薄い白黒→枠だけのヒント→枠も絵もなし)

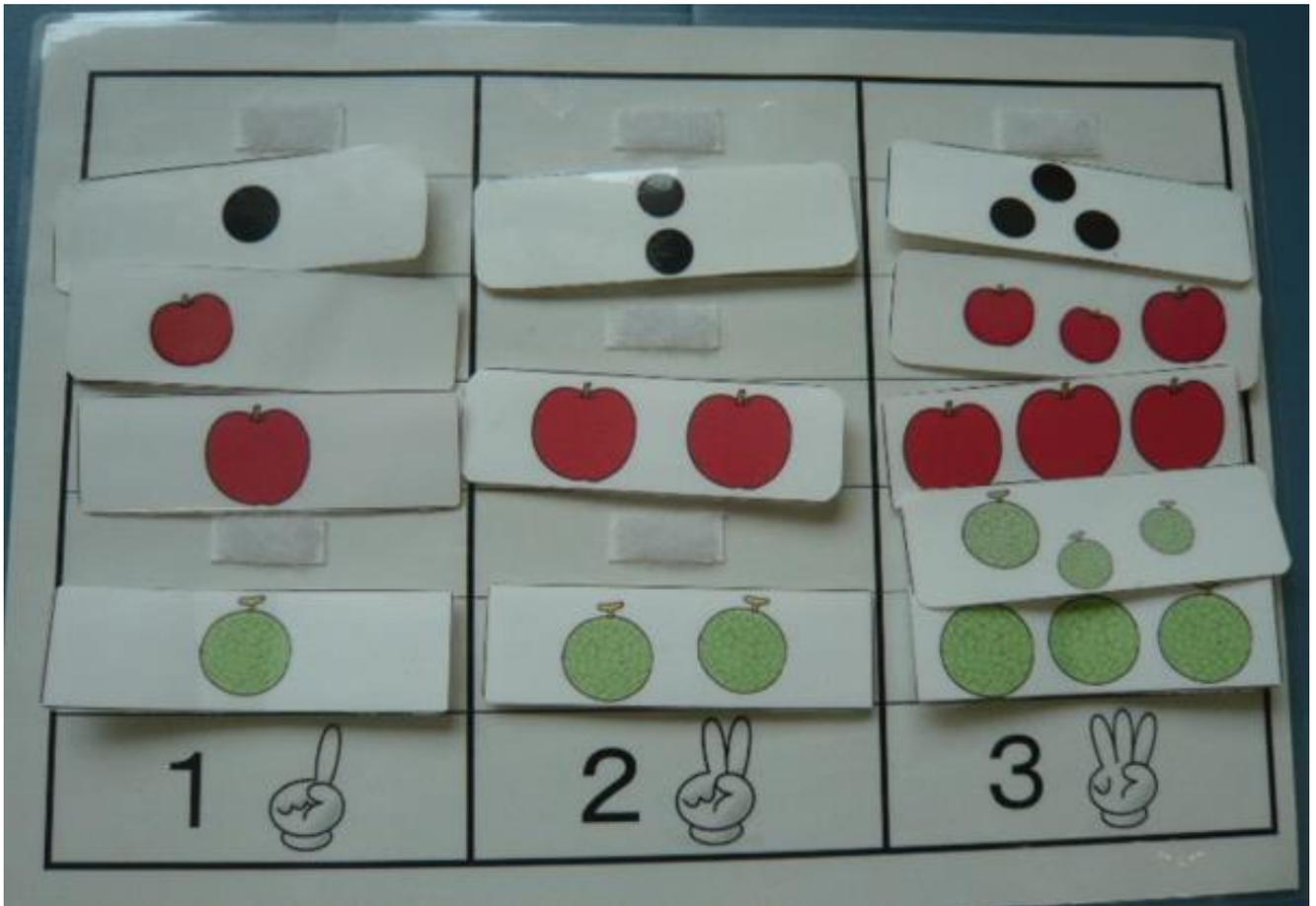
<使ってみてよかったところ、効果。>

- ・ヒントを手掛かりにマッチングを行っていた児童も、徐々に数通りチップを置くことができるようになってきた。
- ・最終的に日常生活の場面でカードを指すと、要求された分だけチップを渡すことができた。

令和2年度 教材教具展 (夏季) 冬季)

教材教具名	1～3までの数量	分類	認知 ★★★
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	・果物の絵カードを使い、1 から3までの数量の理解を深める。		

## 教材教具の概要



## &lt;使用方法&gt;

- ① 同じ大きさの果物の絵カードを見て、正しい数の枠に置く。
- ② 大きさの異なる果物の絵カードを見て、正しい数の枠に置く。

## &lt;材料&gt;

- ・マジックテープ、イラスト、台紙

## &lt;工夫点&gt;

- ・はじめは同じ大きさ、次は大きさの異なるものと、段階的に使えるようにした。

教材教具名	1～5までの数量	分類	認知 ★★★
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	・果物のチップを使い、1から5までの数量の理解を深める。		

## 教材教具の概要



## &lt;使用方法&gt;

- ① 指示された数ずつ果物チップを置く。
- ② 指定された果物、数量のチップを置く。

## &lt;材料&gt;

・パネル、マジックテープ、イラスト、台紙

## &lt;工夫点&gt;

・いくつ置いたか、確認できるようにガイド（1から5までが書かれたカード）を用意して、確認できるようにした。